

CASE
01 技能実習生

株式会社光真製作所



企業概要

代表者 代表取締役 池田 英智
所在地 滋賀県草津市北山田町739-2
電話番号 077-563-7152
設立年 1981年
事業内容 エレクトロニクス組立・配線
資本金 1,000万円
従業員数 81名(うち外国人5名)
URL <http://www.koss.co.jp/>

外国人材採用のきっかけ

当社は2003年にフィリピン工場を開設し、日本の工場と連携して生産していますが、フィリピン工場の品質に課題が発生し、日本の技術を習得してそれを現地で活かしてもらうため、約7年前に外国人の受入れを開始しました。1度に2~3名を受入れています。



採用方法・面接のポイント

外国人材は、自社のフィリピン工場のメンバー40名強の中から、人選して来てもらっています。人選のポイントは日々の出勤率や業務態度などです。

弊社関連会社からの受入れなので、「企業単独型」方法で直接、当社が受入れることができ、監理団体にかかる費用が発生しないのがメリットですが、その分、入国後の講習や手続き等、自社でやらなければならない大変な点もあります。今は、監理団体を通じて来てもらっている人と半々です。監理団体経由ですとコストはかかりますが、日本語が少し話せる状態で派遣していただき、教育機能が充実しているというメリットがあります。



外国人材採用にあたり準備したこと・サポート体制

社宅や家具、自転車等の準備のほか、携帯電話も支給し、母国の家族との連絡用に使ってもらっています。社宅はアパートを借り上げた共同生活で、お米を1か月に30kgほど支給しています。音楽がうるさいという苦情が出たことがあり、ゴミの出し方なども含めて生活習慣の違いを理解してもらっています。

コロナ禍で一時、できなくなりましたが、USJへ一緒に行ったり、BBQや親睦会を開催して社内メンバーとの交流を深めました。コミュニケーションをしっかりととり、問題があれば、すぐ対応するように努めています。

外国人材を採用したことで得られた変化・メリット

技能実習生に技術を習得して持ち帰ってもらったことで、フィリピン工場の製品の受入れ検査工数が半分になりました。以前は写真とメールを使い、英訳も必要で、現地とのやりとりに時間がかかっていました。今は不具合があった際などもオンラインで敏速にやりとりができるので効率がとてもよくなりました。

技能実習生は仕事に対する姿勢が日本人より熱心で、一生懸命働いてくれているので、それを近くで見ているまわりの社員のモチベーションアップにも繋がっています。



当社は自社のフィリピン工場から実習生を受入れているので、日本で習得した技術を、帰国してからそのまま現地工場で活かすことができるのが最大のメリットです。習得した技術を活かし、フィリピンの工場のさらなる発展に貢献してもらえればと期待しています。日本でいろいろな仕事にチャレンジして、たくさん経験していただき、技術の向上、知識の向上に繋げて欲しいと思います。

外国人労働者の思い

INTERVIEW



将来的には、この会社のマネージャーになりたいです

アポロス ラスピニャス

出身国 フィリピン
入社年 2021年1月
職務内容 電子機器の組立
在留資格 技能実習



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

フィリピンの工場で4年間働き、優秀な社員ということで技能実習生に選ばれた時は嬉しかったです。2年前から日本語を勉強し、来日前の2か月は、毎日仕事終了後、2時間勉強しました。今も毎日、少しずつ勉強しています。

日本(滋賀)で働く魅力について

日本人は親切で親しみやすいので安心です。滋賀県はフィリピンと風景が似ていて、平和で便利なところ。アパートの近くには公園やお店もたくさんあります。休日は、同僚と一緒に、自転車や車で美しい場所へ出掛けて楽しんでいます。日本は給料が高いのも魅力です。

心がけていること

細かい作業が好きで、電子機器の組み立てに興味があり、この会社に入りました。手順書どおりに組み立てできているかをいつも気にかけています。顧客の満足度が高い製品をつくり、顧客にも社にも役立てればと思っています。

困り事や、その克服方法

1月に来日したので、日本の寒さに驚き、洋服をたくさん買いました。困っていることは特になのですが、あれば先輩や池田部長に相談できるので支障ありません。家族(子供)と離れているのは寂しいですが、1日に2~3時間電話をしてコミュニケーションをとっています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

いろいろな知識を養え、専門的で複雑な仕事を学ぶ機会に恵まれ、成長することができました。3年後はまたフィリピンに帰り、この企業で働きたいと思っています。仕事は難しいと思いますが、将来的にはマネージャーになりたいです。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



彼女は日本人社員と実習生のパイプ役で、とても重要な存在です

取締役
製造部部长/品質管理課課長 池田 篤史

一緒に働く上で心がけていること

日常の中で声掛けをし、コミュニケーションを取ることで、相手が話し掛けやすくしています。一部社内資料を英語化し、共通認識ができるようにしています。会話は、スマートフォンの翻訳機能等も活用しています。

会社にとってどんな人ですか

日本語がかなり上手なので、日本人社員と実習生のパイプ役になってくれる重要な存在です。今後は技術力をもっと上げて、さらにいろいろなものを習得していってほしいと思います。日本では、人材が集まらなくなっています。その中で外国人実習生は、元気いっぱい、まじめで、向上心を持って仕事に取り組んでくれており、とても心強い戦力です。

CASE
02 技能実習生

エムズホールド株式会社



企業概要

代表者 代表取締役会長 前田 武憲
 所在地 滋賀県草津市木川町1595
 電話番号 077-574-8276
 設立年 1997年
 事業内容 住宅リフォーム・外壁、屋根の塗装、足場工事
 資本金 500万円
 従業員数 16名(うち外国人4名)
 URL <http://mshold.com/>

外国人材採用のきっかけ

約7年前、日本人の採用がなかなかうまく進まず、労働力強化のため外国人の雇用を検討しました。同業の知人に相談し、日本人に考え方が比較的似ていて、家族を大切にしているインドネシア人がいいのではと勧められ、監理団体を紹介していただきました。面接は現地とオンライン(スカイプ)で繋いで実施し、2名の採用を決めました。



採用方法・面接のポイント

現地まで赴いて面接を行ったこともありますが、オンライン面接で十分、対応できることがわかり、今はスカイプで面接しています。採用は2年に1度の頻度で、初めの半年間は作業を見ながら覚えてもらい、次の1年は新しい人材への引き継ぎも兼ねながら働いてもらっています。面接のポイントは一言でいえば愛想がよいことでしょうか。若い社員が多いため、恋愛の話などで盛り上がりやすいと考え、「女の子が大好き」「日本のアイドルが好き」という人は採用するようにしています(笑)

外国人材採用にあたり準備したこと・サポート体制

住宅や家具、通勤のための自転車など、生活面をサポートするものを全般で準備しました。また、社員に対しては、外国人材を雇用する意味を事前に周知し、受入れの心構えを共有化しました。入社後は、月1回の定例会議と、その後の食事会その他に、年4回、ボーリングやサッカー大会、慰安旅行等のレクリエーションを実施して社員全員の親交を深めています。また、毎週土曜日にレンタカーの恰好をして、近隣の清掃活動も一緒に行っています。

文化的な背景が違うので、インドネシアでの禁止事項(例えば豚肉やアルコール類の禁止等)などを聞き、禁を破らないよう、社員皆で気をつけています。会社では月1度、広報紙を発行していますが、それをグーグル翻訳等を使って母国語に翻訳し、インドネシアの家族に送って、安心してもらっています。



外国人材を採用したことで得られた変化・メリット

彼らの真面目に働く姿勢は、日本人社員の刺激になり、レベルアップにも繋がっています。当社は20代の社員がほとんどですが、外国人材を教える立場になり、責任感が強くなりました。

人数が増えたことで社員同士の会話が増え、雰囲気も明るくなりました。労働力がアップしたことにより、ゆとりが生まれ、心の豊かさにも繋がったと感じています。



外国人材は、仕事に対する考え方が日本人と異なり、残業をほとんどせず、作業工程に関わらず昼の休憩時間を午後12時ちょうどの取るなど、当初はズレも感じましたが、段取りの工夫や話し合いで対応し、時間管理を徹底するようになりました。考え方の違いで気が付いたことも多く、会社としてもとても勉強になりました。

外国人材の採用にはコストや手間がかかることもありますが、その投資があつてこそ売り上げの拡大に繋がっています。社員の成長や会社の成長にとって、彼らは必要不可欠な存在です。

外国人労働者の思い

INTERVIEW



帰国してからもエムズホールドと関わってみたいです

アア

出身国 インドネシア
 入社年 2019年8月
 職務内容 仮設足場の組立、解体等
 在留資格 技能実習



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

日本の文化や日本人の働き方を知りたくて来日しました。日本語の勉強に加えて、メンタルやフィジカルを鍛えるよう努力しました。

日本(滋賀)で働く魅力について

日本人の皆さんはとても優しいです。私たちは外国人ですが、社員寮周辺の住民の方々にはフレンドリーでいつも優しくしてくれ、嬉しく思っています。

心がけていること

後輩の実習生たちの指導をしています。また、日本語がもっと上達するよう、YouTubeなども利用して勉強しています。

困り事や、その克服方法

日本に来て初めは何もかもわからず苦労しましたが、今では仕事や日常生活にも慣れてきました。今、困っていることは特にありませんが、悩みがあれば友達や会社の人に相談できます。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

仮設足場の仕事自体が初めてのチャレンジで、毎日が勉強でした。日本語能力試験(JLPT)のN4試験に、今まで4回不合格になりましたが、先日、ようやく試験に合格して嬉しかったです。将来は人の役に立つ人になりたいです。また、インドネシアに帰国後も、エムズホールドと関わってみたいです。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



従業員は皆、大切な家族のような存在だと思い、接しています

代表取締役社長 岡野 涼輝

一緒に働く上で心がけていること

できるだけ沢山話しかけ、コミュニケーションをとるようにしています。レクリエーションでしたい事や行きたい場所も、普段の会話の中から聞き出し、USJ等の旅行先を決めています。代表取締役の考えの通り、従業員は運命共同体で、家族のような存在だと思っており、一人ひとりの人間力を高めるお手伝いができればと思っています。

会社にとってどんな人ですか

彼らは大変やる気があり、とてもよく動いてくれるので助かっています。顧客や関係先の方の中には、はじめは外国人が働いているのを見て驚く人もいましたが、一生懸命に働いている姿を見て、認めてくれるようになりました。彼らに助けられることも多く、当社にとって欠かせない大切な存在です。

CASE
03 特定技能

扶桑工業株式会社



企業概要

代表者 代表取締役社長 高橋 善孝
所在地 滋賀県長浜市大茂亥町730番地
電話番号 0749-62-2451
設立年 1962年
事業内容 建設機械・産業機械・農業機械・自動車部品の精密機械加工
資本金 2,705万円
従業員数 384名(うち外国人37名)
URL <http://www.fusoco.co.jp/>

外国人材採用のきっかけ

5年前、人材難で困っていた際、得意先の協力会社関係からベトナム人の技能実習生やエンジニアが活躍しているという話を聞き、長浜商工会議所からも、彼らは真面目に働いてくれるという話を聞いたため、採用に踏み込みました。監理団体を紹介してもらい、エンジニア2名と技能実習生4名を採用しました。



採用方法・面接のポイント

面接は監理団体を介し、現地へ赴いて簡単な実技と質疑応答を実施しています。Q&Aは皆、練習して、だいたい同じようなことを言うため、ちゃんと目を見て話すかどうかや、たどたどしくても日本語で話そうとしてくれるかなどをポイントに見ています。日本語を覚えるのに前向きな姿勢の方を求めています。

外国人材採用にあたり準備したこと・サポート体制

実習生用に2階建てのアパートを借り、人数が増えてからは2LDKのアパートも追加で借りました。コロナ禍の際は、外出を控えるように伝えていましたが、若い子達なので、アパートの部屋でパーティをして騒ぎ、近所からクレームがきて謝りにいったこともありました。

仕事を教える際は、言葉が通じにくいので、わかりやすい表現で、身振り手振りも加えて説明しています。人数が少ないときは、交換日記もしていたのですが、今はさすがに難しく、翻訳機等も使って意思疎通をはかっています。日本語検定を受けるための費用などは、会社で負担します。また、年に1度、ホテルで懇親会をする他、京都の嵐山や愛宕山等へ一緒に観光に行き、コミュニケーションを深めています。



外国人材を採用したことで得られた変化・メリット

彼らは日本人より元気に、しっかり挨拶をし、仕事にも一生懸命に取り組んでくれており、まわりの社員の刺激になっています。みな若くて体力があり、休みをとることも少なく、生産が安定するので大変助かります。残業もすすんでやってくれています。

当初は言葉の問題もあり、教えるのが現場で敬遠する声もありましたが、1か月もすると日本人と同じように働いてくれるようになりました。もともと実習生の採用は数人だけの予定でしたが、彼らの頑張りもあり、ベトナム人を採用して2年を過ぎた頃から30人を超えるほどの人数に増えていきました。今はベトナム人が働いているのが当たり前で、いなければ生産がまわりません。当社では彼らは欠かせない戦力です。



外国人材に期待すること

実習生が働く期間が3年というのには短いのでは、という反応もありましたが、日本人を採用しても、3年間辞めずに働いてくれる人がどれだけのいるかを考えると、決して短くはないと感じます。場合によっては1週間で辞める人もいますので、3年間は確実に働いてくれるというのは、かえって安心感があります。言葉の壁の苦労はありますが、彼らはしっかりと仕事をしてくれており、生産が安定するというのが最も重要なことだと捉えています。日本語があまりできないと、簡単な作業しか説明できず、高度な技術を習得した上で帰国し、技術を活かしてもらおうという趣旨に沿いづらくなるため、実習生には少しでも日本語を勉強してきて欲しいと思います。

外国人労働者の思い

INTERVIEW



将来も日系企業が日本で働きたいと思っています

ファム ダン ファン

出身国 ベトナム
入社年 2018年3月
職務内容 機械加工
在留資格 特定技能



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

ベトナムで働いていたのですが、将来のため、もっと新しいことに挑戦したいと思い、4年前に日本に来ました。25歳から日本語の勉強を始め1日、3~4時間、勉強をしていました。この会社で技能実習生を募集しているのを先輩から聞き、応募しました。

心がけていること

まじめに働くことと、ルールを守ることを心がけています。仕事ではクランプミスをしないように気を付けています。実習生の中には、日本語が不自由な人も少なくないため、自分が仲介してサポートするよう努めています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

日本に来てから、日本語検定や技能検定にチャレンジしました。帰国後はベトナムの日系企業で活躍したいとも思いますし、もう一度日本へ来て仕事をすることも考えています。家族と日本で暮らせばとも思います。そのために、より高い技術を身につけていきたいと思っています。

日本(滋賀)で働く魅力について

滋賀県は空気が澄んでいて、景色もきれいです。人も優しく、住んでいるところは安全で安心して暮らせます。釣りが好きなので、休日は同僚と琵琶湖でブラックバスやナマズなどを釣って楽しんでいます。

困り事や、その克服方法

今、困っていることは特にありません。悩みがあれば、彼女に相談したり、家族に電話をして相談します。寂しくなることもありますが、音楽を聴いて解消しています。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



職場に不可欠な存在で、特定技能の資格をとり滞在期間を延長してもらいました

製造部 製造2課課長 藤田 幸司

会社にとってどんな存在ですか

彼は入社当時から日本語の能力が高く、日本人社員とベトナム人実習生のパイプ役になってくれる貴重な存在です。

期待すること

彼ははじめ技能実習生として入社し、3年で帰国する予定だったのですが、職場に不可欠な存在で、もう少し残して欲しいと会社に懇願しました。ちょうど特定技能の制度が新たにできたこともあり、特定技能の資格をとって継続して働いてもらっています。日本語が上手なので、複雑な作業も説明しやすく、今後はさらに高い技術を習得し、職場のリーダーとしてまわりを引っ張っていく存在になってほしいと思っています。

CASE
04 技術・人文知識・国際業務

長谷金属株式会社



企業概要	
代表者	代表取締役 長谷 佳幸
所在地	滋賀県愛知郡愛荘町島川115番地
電話番号	0749-42-6858
設立年	1964年
事業内容	板金加工製品、溶接・塗装製品、機械加工製品の製造、販売
資本金	2,500万円
従業員数	45名(うち外国人20名)
URL	http://hasemetal.com/



約10年前、溶接や塗装工程の人員確保に苦労していたところ、知人から外国人実習生を採用してみようという提案されました。知人の会社がベトナム人を採用していた関係もあり、観光ついでという軽い気持ちでベトナムを訪問し、実習生のための教育施設である日本語学校を見学させていただきました。彼らからひしひしと伝わってくる働く意欲や日本へ行きたいという熱意に感動し、結果、大卒のエンジニア2名と実習生3名を採用することになりました。彼らは真面目で一生涯懸命動いてくれ、それ以降、毎年2~3人を採用しています。エンジニアは語学も達者で、会社の考え方や方向性等を実習生に伝えてくれるので、エンジニアと実習生という組み合わせでの採用はとてもよかったと思います。

採用方法・面接のポイント

面接では、働く意欲を重視します。なぜ日本で働きたいのか、なぜ弊社で働きたいのか、将来、何をやりたいのかを聞きますが、頑張って日本語で答えようとしてくれる人は好感がもてます。

また、もうひとつ重視するのが協調性です。住まいが共同生活なので、今のベトナム人社員とうまくやっていけるか、先輩の言うことを聞けるか、日本の習慣を守れるかといったところを見ます。能力があっても人間関係で浮いてしまうと長続きしません。真面目に頑張ってくれば、技術は身に付いていくものだと考えています。



外国人材採用にあたり準備したこと・サポート体制

アパートや軒家を会社で借り上げ、1人1部屋で住んでもらっています。採用した当初は、入社前に家電一式を揃え、入居後はゴミの出し方等をレクチャーしていましたが、今は先輩のベトナム人社員がいろいろと教えてくれています。地域で日本語教室があるため、その参加費用を会社で負担しており、日本語検定で資格をとった場合はボーナスを上乗せし、意欲づけにしています。その他プライベートでは、皆でBBQをしたりお花見に行くなどして、交流を深めています。

当初から家族を迎えたつもりで日々接していますが、毎年、私の妻のために母の日の花とプレゼントを持ってきてくれるその優しさを嬉しく思います。



外国人材を採用したことで得られた変化・メリット

日本人だけだと言葉数が少なくなりがちですが、彼らがいることで会話が増え、笑顔も生まれて社内の雰囲気明るくなりました。ベトナム人社員で作ったサッカーチームで、会社の名前を冠した杯を実施してくれ、日本人社員と一緒にプレーする等、連携していいチームプレイになっていると感じます。

日本人同士だと、「仕事は見て覚えろ」という感覚がありますが、ベトナム人社員は、自分達が苦労しているのを教える方も丁寧で、新入社員がすぐ仕事を覚えてくれるようになりました。彼らの活躍に日本人社員も良い刺激を受けています。



現在、社員の半分はベトナム人で、日本人とベトナム人の双方の活躍がなければ会社は存続しないといっても過言ではありません。外国人材の採用にコストダウンという意識は全くなく、会社の発展のために大いに活躍して欲しいと思っています。今後は、ベトナム人の社員からも社を引っ張ってってくれる部課長が出てきてほしいです。また、将来的に海外で事業展開をすることがあれば、彼らのパワーを借り、共に挑戦、成長していきたいと考えています。

外国人労働者の思い

INTERVIEW



私にとって日本は完璧な場所です

グエン ヴァン ガン

出身国 ベトナム
入社年 2020年2月
職務内容 レーザー加工機のCAD/CAMプログラム作成を担当
在留資格 技術・人文知識・国際交流



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

ベトナムの工業大学を卒業後、約1年間、日本語を勉強し来日しました。希望の収入を得るため、また、日本語をもっと勉強したいと思い、来日しました。

日本(滋賀)で働く魅力について

電車など交通機関が発達していて、日本中どこでも行けるのが魅力です。休日は他府県の友達と会い、様々な場所へ旅行するなど、日本での生活を楽んでいます。

心がけていること

社内のムードメーカーとなり、日本人とベトナム人の橋渡し役になるよう努めています。

困り事や、その克服方法

日本に来た当初は言語や文化の違いがあり、苦労しましたが、先輩から丁寧に指導いただいたおかげで、1年経過した頃から、仕事も生活も順調に進むようになりました。悩み事はベトナム人の同僚や上司(部長)に相談しています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

今では日本語がかなり上達し、難しいプログラムでも自分一人でも対応できるようになりました。次の目標はCNC加工機のプログラム作成をマスターすること、日々、日本語勉強を頑張り、日本語検定2級を取得することです。将来的には、長谷金属の技術部長が、ベトナム支店が開設された場合は、その支店長になりたいと思っています。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



外国人材は貴重な戦力 彼らなしでは会社は存続しません

生産統括部 大西 俊之 部長

一緒に働く上で心がけていること

生まれも育ちも異なるため、「当たり前」はなく、何事も丁寧な説明を心がけています。入社後1年間は、毎日15分のミーティングを実施し、仕事の進捗だけでなく不安に思うことなどをヒアリングし、相談に乗りました。

会社にとってどんな人ですか

彼は日本人社員とも積極的に交流し、社内の雰囲気を明るくしてくれています。エンジニアの彼には、ベトナムにいる際から週に一度、図面展開の宿題をだして指導をはじめ、入社後はチェック体制を整えたいうえでどんどん実践に挑戦してもらいました。弊社には生産工程や加工設備が多くあるため、ハンガリー精神旺盛で何事にも積極的に挑戦する彼のような人材は大歓迎です。

CASE
05 介護

マザーレイク株式会社



企業概要	
代表者	代表取締役 片岡 理佐
所在地	滋賀県大津市黒津一丁目6番18号
電話番号	077-536-3901
設立年	2001年
事業内容	グループホーム・デイサービス・訪問介護・ 居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護 等
資本金	1,000万円
従業員数	73名(うち外国人3名)
URL	https://grouphome.jp/



日本は人口減少が続いており、このままでは介護業界だけでなく日本全体の人材不足が懸念されております。介護分野でも外国人材の受入れが可能になり、現場での活躍が期待されています。他国でも高齢者を敬う文化は多くあり、お互いの利点を取り入れたいことから、いち早く外国人材採用に着手しました。数社の監理団体から外国人材への想いが共有できる団体と契約し、3年前にベトナムから1期生・1名の採用からスタートし、現在は、介護1名(ネパール)、特定技能1名(ベトナム)、技能実習生1名(ネパール)合計3名の外国人の方にお仕事してもらっています。



採用方法・面接のポイント

外国人材採用については、トップの判断だけでなく、現場の担当者にも同じように意識をもってもらえることが大切です。スムーズに現場で受入れられる下地を作るため、1期生の時は、担当者に現地ベトナムまで赴いてもらい面接を実施しました。ここ数年、コロナで現地へ行くことはできなくなりましたが、ZOOMで面接が行えるようになってからは、面接に入る担当者の数も増やし、実際に採用になった時に双方が仕事をしやすい環境が整ったようにも思います。当社では、国籍は問わず、求めるのは協調性であり、一緒に頑張ってくれる人で、やはり人柄を重視しています。

外国人材採用にあたり準備したこと・サポート体制

住居は、はじめはワンルームを準備しましたが、田舎は賃貸物件も少なく、外国人の入居を断られるケースも多いため、今は会社で家を買って、リフォームして3人で住んでもらっています。外国人の雇用について、はじめスタッフは皆、戸惑いを見せていましたが、全体会議で出身国についての文化習慣を勉強し、受入れ体制を整えていきました。

外国人材の入社後は、市販の教材を使って毎日15分、日本人スタッフが日本語を教えたり、介護の資格取得に向けサポートをしたりしています。またアイパッドの翻訳機能も活用しています。彼女達が習ってきたのは標準語なので、関西弁はわかりづらく、テキストもないというのが悩みどころです。

自宅と職場の往復だけでは淋しいので、休日には京都のお寺やUSJと一緒にいくなど、仕事以外の楽しみも作るように配慮しています。



外国人材を採用したことで得られた変化・メリット

真面目で一生懸命やる姿勢が、日本人スタッフにもいい影響を与え、モチベーションがあがっていると感じます。いろいろな人を受入れようという姿勢も皆の中に強くなってきていると思います。言葉の壁があり、ニュアンスを伝えるのが難しいことありますが、より丁寧にかみ砕いて説明するようにしています。本来、日本人スタッフにも、「常識だからわかるだろう」と考えるのではなく、きっちりと説明してあげるべきで、指導する側としても勉強になることが多いです。「ゆず湯」など季節行事をすると、利用者の方が、外国人スタッフに日本文化について教えてくれることもあり、利用者の満足度に貢献するという側面も見られます。



技能実習生の受入れは、管理組合への手数料や住居の準備、介護以外の日本語の勉強を教える時間の確保など、いろいろなコストが発生しますが、それを考えても、メリットの方が多いと感じます。技能実習生には期限がありますが、リザル・サビナさんのように、より高度な介護の資格を取得して、長く日本で仕事をしてもらい、長く滋賀県に定住して欲しいと思っています。

外国人労働者の思い

INTERVIEW



優しい介護福祉士を目指しています

リザル・サビナ

出身国 ネパール
入社年 2021年4月
職務内容 高齢者介護
在留資格 介護



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

日本のアニメが好きで、ネパールの大学で1年間、日本語を勉強し、その後2年間、ビジネスの勉強をした後、約5年前に日本に来ました。

心がけていること

高齢者のお世話を丁寧にすることで、まわりの助けになればと思っています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

一番にチャレンジしたことは、関西弁を話すことです。この仕事に就いて、周りの人のことを注意深く見て、小さなことも気づけるようになりました。今後は優しい介護福祉士を目指していきたいと思っています。

日本(滋賀)で働く魅力について

私は人のお世話をすることが好きで、高齢者が多く、介護をする人が少ない日本で働くことは魅力に感じました。

困り事や、その克服方法

車を持っていないため、ショッピングに行くのが大変なことです。悩みは先輩や友達に相談しています。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



外国人の雇用は、様々な考え方を持つ人を認め合うきっかけになると思います

中尾 圭介

会社にとってどんな人ですか

リザル・サビナさんは入社後2年経ち、今では、早出・日勤・遅出・夜勤と全ての仕事をこなせるようになりました。外国人にお世話してもらうことを受入れにくいご利用者に対しても、何度も話しかけて受入れられる関係性を築けており、とてもガッツがあり、周囲に良い影響を与えてくれています。シフト調整で困った時は必ず相談に乗ってくれ、対応もしてくれる頼りになる存在です。また、高齢者を敬う気持ちが日本人より強いのか、ご利用者との関わり方を見て、自分自身の日々の関わりを振り返ることもあります。文化の違う外国人雇用が当たり前になることで、日本人でもいろいろな個性の人を受入れることが容易になるように感じます。様々な考えを持った人間がいて当たり前で、そのことを認め合うことのきっかけになるのではと思います。

一緒に働く上で心がけていること

基本的には日本人と同じようにOJTで指導する他、日本語の勉強の時間も設けています。休憩時には「買い物はどこですか?」など、なるべく答えやすい質問をしてコミュニケーションをとっています。夢を持って日本に来てくれているので、その実現に向けてお手伝いをし、気持ちよく働いてもらえるよう努めています。

CASE
06 技能実習生

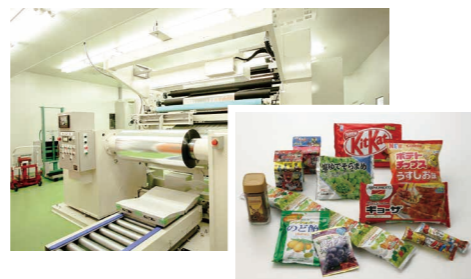
サイチ工業株式会社



企業概要	
代表者	代表取締役社長 山本 彰
所在地	滋賀県大津市平野3丁目1番11号
電話番号	077-561-9811
設立年	2004年(創業1907年)
事業内容	金銀糸の製造販売・真空蒸着製品、各種コーティング製品の製造販売(国内・輸出)
資本金	2,000万円
従業員数	219名(うち外国人7名)
URL	https://saichi-kk.co.jp/



銀行から監理団体を紹介されたのがきっかけです。当時はそれほど人手不足ではなかったのですが、社長が新しい取組に熱心で、将来的に人材不足になるだろうという予測もあり、2018年に初めてインドネシアから技能実習生4名を受け入れました。インドネシアには取引先もあり、将来的に橋渡しの様な役割を担ってもらえる可能性もあると考え、採用を決めました。



採用方法・面接のポイント

現地の日本語学校で学ぶ方の中から20人ほど当社に合いそうな方を候補に挙げてもらい、社長が自ら現地に赴いて面接を行い、4名を採用しました。採用のポイントは「元気で笑顔のいい方」で、その中の一人はリーダー格となる25歳の穏やかな方を選びました。

監理団体は、インドネシア政府認定送出国機関で、日本語学校に入学するハードルも高く、しっかりした人材が集まって安心できました。

外国人材採用にあたり準備したこと・サポート体制

初めての外国人材の受け入れで、何をしていたのかわからず、監理団体のサポートを得て、住居や家財道具一式、自転車、食料品等を準備しました。住居は借り上げの3DKのアパートに2人ずつ同居してもらい、昨年、外国人社員が結婚された際は、当社の就業規則に則って、夫婦で入れる社宅を準備しました。

入社当初はたどたどしい日本語で、コミュニケーションをとるのも難しく、世話役である総務課長と一緒に買い物に行ったり、外食をしたりしました。歯医者や耳鼻科に行く際は、付き添いで行くこともありました。また、イスラム教の方は豚肉が食べられないので、お昼のお弁当は豚肉抜きのもので対応しています。

仕事のシフトで一緒になる日本人社員も、しっかり指導ができる面倒見のよい社員を人選し、業務後にその社員にヒアリングして、実習生達の業務の理解度を測りました。

福利厚生は日本人社員と同様で、ポーリング大会やバーベキュー、飛騨高山への旅行や餅つき大会などに参加してもらっています。

外国人材を採用したことで得られた変化・メリット

アノムさんをはじめ外国人材の方々には皆、真面目で丁寧で元気が良く、現場に活気が広がっています。

仕事に対して前向きで、向上心をもって取り組んでくれており、最後まで諦めずにやり通そうという姿勢が、日本人社員にも良い影響となっています。新しい風を吹き込んでくれて、とてもいい雰囲気になりました。



2018年に入社した1期生4名は、皆、実技試験をクリアして技能実習3号として継続して働いてもらっていますが、来年には2期生4名を受け入れる予定です。1期生の4名には先輩として、技能実習生の手本となるよう、基礎を築いてもらえたらと思っています。来年、後輩が入ってくる際は、指導役としての活躍も期待しています。

外国人労働者の思い

INTERVIEW



日本で学んだことを活かして母国で起業したいです

アノム トマリイマム

出身国 インドネシア
入社年 2018年9月
職務内容 工業包装
在留資格 技能実習



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

先輩から日本のことを聞いて興味を持ち、優れた製品を多く生み出す日本人は、どんな考え方や行動をしているのか勉強したいと考え、日本で働きたいと思いました。来日前には、日本語学校を含め約1年間、日本語を勉強し、日本の文化や習慣を学んだり、健康管理のために、運動もたくさんしました。

心がけていること

時間をきちんと守り、「ハウレンソウ」を必ず行うようにしています。指差呼称を実施して安全第一に仕事をし、何度もチェックして問題が起こらないように気を付けています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

日本に来たこと自体が大きなチャレンジでしたが、シフト内では実習生は自分一人であったため、すべて日本語で日本人と一緒に仕事をしたこともチャレンジでした。時間をきちんと守ることも自国とは違う文化で、日本で身についた変化です。インドネシアでは仕事が少ないので、将来は小さくてもいいので自分の店か会社を作りたいと思っていますが、できればもう少し、この会社で延長して働ければ嬉しいと思っています。

日本(滋賀)で働く魅力について

住居の周りにはスーパーやコンビニ、飲食店、病院があり、駅にも近いので京都、大阪、名古屋にも日帰りで行くことができ、とても便利で満足しています。釣りが趣味で、琵琶湖や川などの自然が身近にあるのも気に入っています。

困り事や、その克服方法

はじめは日本語が難しく、特に関西弁は自国で習ってきた標準語の日本語と違うので苦労しましたが、積極的に会話し、勉強して解るようになりました。仕事の手順を覚えるのは大変でしたが、今は慣れたので大丈夫です。仕事の相談は課長や係長、職場の人にすぐ聞くようにしていますが、皆さん、とても優しく接してくれます。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



会話が上手でコミュニケーション力があり、前向きな姿勢が社内にも良い影響を与えています

製造本部 蛸田製造2課課長 豊田 勇太

一緒に働く上で心がけていること

資料にはひらがな、カタカナを振り、専門用語を簡単な言葉に変換して、内容を理解してもらいやすくしています。製造業は安全第一なので、まずは安全ルールを徹底し、安定品質維持のため、いかに作業標準を守る事が重要かを説きながら指導しています。

会社にとってどんな人ですか

アノムさんは外国人材の中でも特に会話が上手でコミュニケーション力があり、配属チーム内だけでなく、全体のムードメーカー的な存在で、皆から愛されています。来た当初は日本語がたどたどしく、会話に苦労しましたが、解らない言葉を毎日メモして日本人に聞き、自分から積極的に話したり聞いたりしてくれて、どんどん会話が上達していきました。勉強熱心で前向きな姿勢が、周りの人にもとても良い影響を与えています。

CASE 07

技術・人文知識・国際業務

株式会社松喜屋



企業概要

代表者 代表取締役 西居 基晴
所在地 滋賀県大津市唐橋町14-17
電話番号 077-534-1211
設立年 1949年
事業内容 近江牛肉の小売、卸売り、加工品販売、飲食業（レストラン）等
資本金 1,300万円
従業員数 140名（うち外国人2名）
URL <https://www.matsukiya.net/>



コロナ禍が落ち着いてきて、毎日のように外国人観光客が来店するようになりました。また2025年には大阪万博も開催され、さらにお客様が増えることが見込まれることから、インバウンド対応強化のため、外国人材の採用を考えるようになりました。外国人材採用は未経験で、ビザの問題などわからない点も多く不安でしたが、どのような在留資格の方を採用したらいいのか等、滋賀県外国人材受入サポートセンターに色々とおアドバイスをいただき、不安を解消することができて、前に進むことができました。



採用方法・面接のポイント

昨年10月、滋賀県外国人材受入サポートセンターが開催した合同企業説明会に出展し、その時にブースに来て説明を聞いていただいた方の中から、許さんを採用しました。許さんは当時、大阪のビジネススクールに通っており、面接の際には、学校まで出向いて先生にも話を聞き、とても優秀でしっかりとしておられる方とお墨付きをいただきました。台湾大学を卒業し、TOEICが900点を超えるという大変優秀な方なので、本当に我社で良いのかと何度も確認しましたが、日本の歴史や食文化にとっても興味があり、都会ではなく地方で働きたいということで、お互いのニーズが合致し、採用に至りました。



外国人材採用にあたり準備したこと・サポート体制

住居はご自身で物件を探されましたが、保証人が必要とのこと、会社が保証人になりました。交通費支給や食費補填、福利厚生等の制度は、すべて日本人社員と同様です。入社後2ヶ月間は、色々な部門の人にトレーナーになるよう依頼して現場研修をし、他の新入社員と同様に、ビジネスマナーやテーブルマナー研修にも参加してもらいました。日本語に慣れてもらうため、日々の振り返りレポートを日本語で書いてもらい、それに対して先輩社員が文通のような形でコメントを記入し、文章の添削を行っています。学習意欲がとても高く、日本人社員も間違った日本語を教えないように気を付けています。

外国人材を採用したことで得られた変化・メリット

許さんを採用する前は、外国人のお客様とはiPadの翻訳機能を使ってやりとりしていましたが、肉の部位等、食関係の翻訳は誤訳も多く、とても苦労していました。彼女は中国語も英語も堪能で、スタッフが待ち望んでいた救世主のような存在です。モチベーションが高く、外国人のお客様目線で色々接客や誘客についての提案、アドバイスもしてくれ、こちらがいつも勉強させてもらっています。



今後ますますグローバル化が求められる中、許さんには海外広報、宣伝や海外エージェントとの交渉担当として、近江牛や日本の食文化の魅力を積極的に発信して欲しいと思っています。滋賀県へのインバウンド誘客事業とも連携し、牧場見学と合わせた体験型の企画等も実施していますが、観光客の目線に立ち、企画やプロモーションにも携わって欲しいと考えています。今後も外国人材をさらに迎えたいと考えており、彼女には良き先輩として指導役になってもらう予定です。そして、そのような優秀な外国人材がどんどん活躍してもらえるような職場にしていきたいと思っています。

外国人労働者の思い

INTERVIEW



日本の食文化を世界に発信し、海外との懸け橋になりたいです

許庭璋
 出身国 台湾
 入社年 2023年4月
 職務内容 通訳、翻訳、広報等
 在留資格 技術・人文知識・国際業務



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

以前、日本に旅行で来た際、日本の風景や文化が魅力的で興味を持つようになりました。日本で働くために日本語と日本のビジネスマナーを勉強しました。

日本（滋賀）で働く魅力について

日本の空気や風景は美しく、滋賀は山や湖が綺麗で、豊かな自然環境の中で生活するのが魅力です。近くには、休日に楽しめる様々な場所やアクティビティもあり、気に入っています。

心がけていること

自分がお客様の立場ならどんなサービスを期待するか、日本の料理についてどんな説明をすればわかりやすいか等、日々考えて日本の食文化を勉強しています。海外からのお客様が料理を楽しむ笑顔に、やりがいを感じています。

困り事や、その克服方法

接客業の経験がなく、日本語もまだまだなので、苦労もありますが、同僚のみなさんが優しく、とても働きやすい環境です。インカム（無線機）を使つての会話は難しいですが、毎日頑張つて慣れるようにしています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

実際に日本に来て、日本人と日本語で交流すること自体が、私にとって毎日のチャレンジです。松喜屋は滋賀の観光振興や地域活性化にも力を入れており、やりがいのある仕事で、私もそれに貢献したいと思っています。私の夢は、異なる国や文化の人々がいい人間関係を築ける機会を作ることです。日本の食文化や魅力を通じて、海外との懸け橋になれるよう頑張りたいと思います。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



外国人客の目線でサービスのアドバイスをもらい、いつも勉強になります。インバウンド部門の要の存在です。

原 桃子

一緒に働く上で心がけていること

はじめは異国で緊張されていたので、スタッフから積極的に声がけを行いました。今は毎日、朝礼、夕礼を行い、発言する場を設けています。台湾では親しい間柄で「ありがとう」とあまり言わない文化のようですが、日本文化を説明し、日本人と同じような対応をしてもらうようにしました。気になることがあれば、すぐ話し合つて問題解決をするようにしています。

会社にとってどんな人ですか

現在、インバウンドのお客様が増加していますが、英語に疎いスタッフが多く、通訳、翻訳をしてもらえるので大変、助かっています。初めての外国人正社員ということで、とても新鮮で、海外と日本の文化の差なども教えてくれるので、今までにない知識を見につけることができました。今後、訪日観光客の激増が見込まれる中、インバウンド部門の要といつていい存在です。